

# Edv Path(エデュパス)について

## Edv Path(エデュパス)とは

児童生徒一人ひとりの非認知能力を数値化するアセスメントを保有し、探究的な学習アプローチによる効果を見る化できるサービスで、児童生徒の現状や探究学習・行事等を含めた教育活動の効果を測定し、非認知能力の切り口から児童生徒の現状や変化を捉え、成長を支援することで自己肯定感や主体性を育むことができる。  
(開発元: Edv Future(株)(エデュフューチャー))

## Edv Path(エデュパス)によるアセスメント調査

最大84問の選択回答によるアセスメント調査を1人1台端末等で実施し、児童生徒の非認知能力や心理状況を測定し、見える化する。

質問内容は、児童向け、生徒向けで対象者に合わせて最適化されており、1回約5分と短時間で調査を完了することができる。

また、集計結果は即時で出力されるため、すぐに結果に応じた活用をすることが可能となっている。

※ここに記載しております「アセスメント調査」に係るデータが、今回流出した可能性があるとされている「EdvPath回答データ」です。

### 【設問例(一部)】

- ・自分がどのような人になりたいのかを決めている
- ・他の人に言われなくても、自分から動くことが出来る。
- ・自分の考えをほかの人に対して伝えることが得意である。
- ・先生に対して、なんでも話すことができる。
- ・自分のいいところも悪いところも、ありのままに認めることができる

The screenshot shows the Edv Path assessment interface. At the top, it says "最大84問の選択回答" (Up to 84 questions of multiple choice), "所用時間は平均7~10分" (Time required is approximately 7-10 minutes), "結果は即時反映" (Results are immediately reflected), and "何度でも受検が可能" (Multiple attempts are possible). Below this, a question is displayed: "目標を達成するために自ら計画を立て、学習することが出来る" (You can make a plan and learn by yourself to achieve the goal). The question number is "問1 / 84". To the right, a red box highlights "5つの選択肢から直感選択回答" (Direct intuition selection from 5 options). Below the question, there are five circular response options: two yellow ones labeled "当てはまる" (Applicable) and three blue ones labeled "当てはまらない" (Not applicable). A red bracket on the left points to a box labeled "1行~2行程度の短文設問" (Short text-based questions of 1-2 lines). At the bottom right, there is a "次へ >" (Next) button.